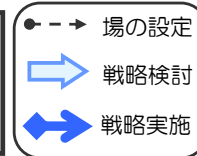
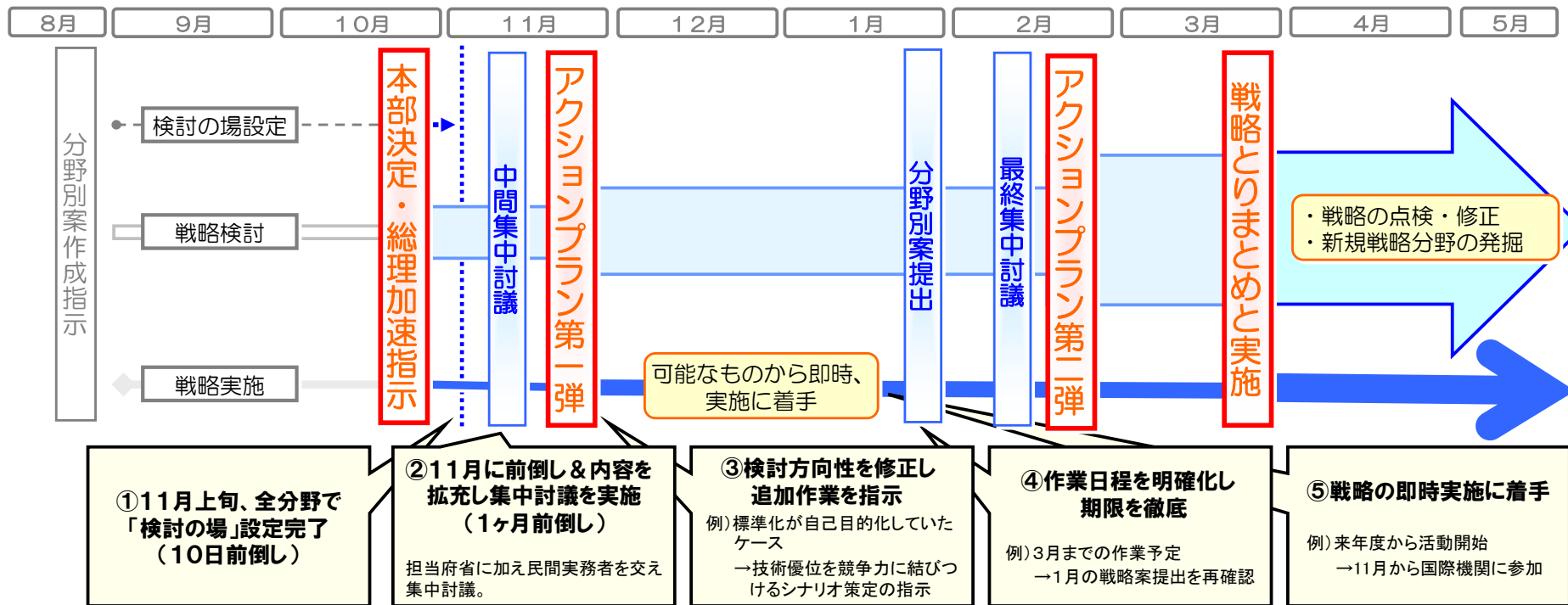


国際標準化戦略策定の加速・拡充

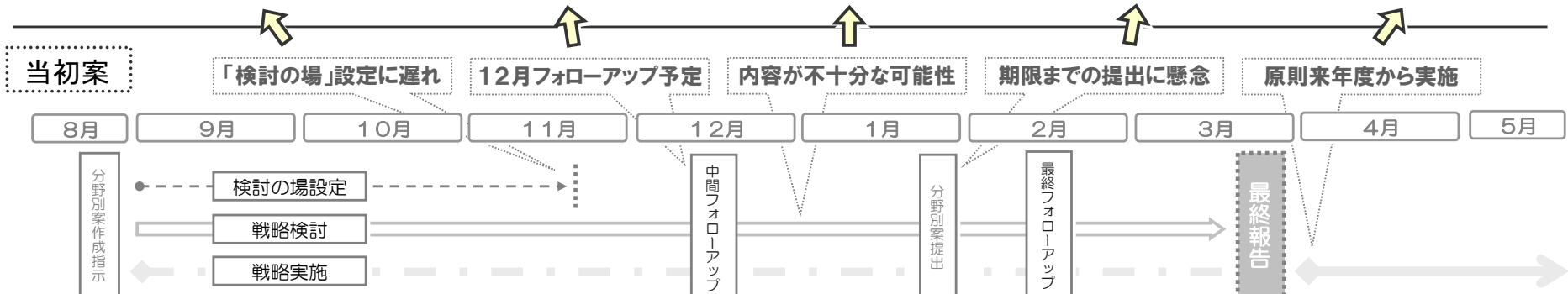
・本部決定と総理指示を受け、直ちに策定プロセスを**最大限加速**。アクションプランをまとめ、直ちに実施に着手。
 ・内容面では、諸外国との競合（外部環境）と知財を含む我が国の競争ポジション（内部環境）を正確に把握し、競争優位を強め、劣位を補い、**国際競争力に結びつけるシナリオ**の明示や、**府省間・官民連携**の強化を指示。



本部決定・総理ご指示後



- ① 11月上旬、全分野で「検討の場」設定完了（10日前倒し）
- ② 11月に前倒し&内容を拡充し集中討議を実施（1ヶ月前倒し）
担当府省に加え民間実務者を交え集中討議。
- ③ 検討方向性を修正し追加作業を指示
例)標準化が自己目的化していたケース
→技術優位を競争力に結びつけるシナリオ策定の指示
- ④ 作業日程を明確化し期限を徹底
例)3月までの作業予定
→1月の戦略案提出を再確認
- ⑤ 戦略の即時実施に着手
例)来年度から活動開始
→11月から国際機関に参加



戦略検討加速に関する知財本部決定・総理指示

知財本部会合(10/26)において、以下のとおり、本部決定が行われた。

国際標準化戦略の検討加速について

平成22年10月26日
知的財産戦略本部決定

国際標準化戦略は、国家戦略としての新成長戦略を支える柱であり、200兆円規模の市場に切り込む礎となる重要施策である。このため、本部として「知的財産推進計画2010」において7つの特定戦略分野を定め、その上で、8月25日の企画委員会で、関係府省に15項目の戦略策定を指示している。

7分野15項目は、我が国にとっての最重要分野であり、現状のままでは、国として戦略を策定せず世界の標準化交渉に対応しているものもあり、今や戦略策定の遅れは一刻たりとも許されない状況にある。このため、国際標準化戦略の検討加速について、以下のとおり決定し、**可能な限り速やかに戦略を策定し、実行に移していく**こととする。

1. 検討加速

関係府省は、遅くとも11月中旬までに「官民検討の場」を設置し、早急に検討を進め、**企画委員会は、必ず本年度末までに戦略の策定を行う**。

2. 厳格な進捗管理

検討に際しては、企画委員会の下に置かれた国際標準化戦略タスクフォースにおいて関係府省と一体となって迅速に検討を進め、**企画委員会においては政務三役レベルで厳しくフォローアップする**こととし、関係する予算案が固まる本年末及び年度末の時点で開催する本部において改めて進捗を確認するものとする。

同会合において、総理から、以下のとおりご発言があった。

この内閣として、知的財産戦略本部初会合ということでご苦労さまです。

いろいろなことを私も抱え込んでいますが、海江田大臣の前任者でもありまして、大変この知的財産戦略本部のことは気かけながら、必ずしも十分なことはできていないことを申しわけなく思っております。

今来る前に、事務局体制を少し調べてみました。私が本部長で、もちろん海江田さんが担当大臣なんですが、事務方の責任者としては、今日も来てもらっています内閣官房、これは長官も入るのかな、それで今、副長官の瀧野さんにも来てもらっていますけれども、少し事務方のほうで引っ張るようなことを考えてください。近藤事務局長もおられますが、言いわけになりますけれども、どうも政務三役、特に内閣府は非常に変則でして、めっちゃくちゃに仕事の範囲が広過ぎて、皆さんも認められるように、海江田さんも和田さんもみんな大変優秀な人なんですけれども、これに専念していれば100の力が出ると思うんですが、多分なかなか、20も回るかどうかというところがありますが……

(海江田内閣府特命担当大臣：30ぐらいやっていると思いがすが。)

ありがとうございます。それをカバーする意味でと言ったら変ですが、事務方の体制を少し、きちっとしていただきたいと思います。

今日は決めていただいた**標準化の問題も、事務局長の近藤さんのところで中間的な取りまとめをしたものを、瀧野さんのほうでどうなっているかというタイミングだけは、私のほうでチェックしますから、そういう形でいろいろなことが進行しているのか、とまっているのかをよく見ておいてください。**

特に今日、各省庁の大臣も副本部長としてお出ましいただいていますが、大体各役所に戻るとほとんど動いていません、私が見るところ。内閣府というところはさっき言いましたように、ややわかりにくいところなものですから、結局行ったり来たりしている間に1年たつというのが、私のこの1年間の私自身の感想でありますので、そういう意味では**各省庁も受けとめて燃らされたところは自分のほうで期限を切って、例えば10月、11月末までには何らかの方向を出すとか、そういう形でそれぞれが少し進めてください。**でないと多分ああい、ああでもない、こうでもないと言っているうちに物事が終わってしまうと思うものですから、そのように申し上げます。

そういうことで、ちょっといろいろと細々とした、何か事務局長的なことを申し上げましたが、知的財産標準化戦略の推進は、新成長戦略の重要な柱の一つとして、21の国家戦略プロジェクトの一つに位置づけられております。

今回の本部会合でプロジェクトの進捗が確認されたと同っておりますが、**各府省に特に要請したいのは、国際標準化戦略の検討の加速、来年の1月とかと言わないで11月いっぱいぐらいまでには、中間的なことをぜひ出していただきたいと思っております。**

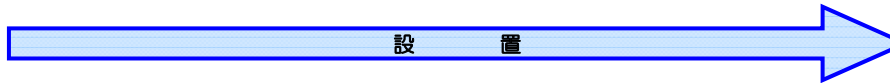
いろいろと調整の困難なこともあるかと思いますが、国際標準の設定は今お話がありましたように、我が国将来の産業競争力を左右する分野であり、**特に7つの重要分野については、各府省において政務三役が事務方を督促して検討を加速し、年内、できれば11月中にも中間報告を海江田大臣、和田政務官に上げていただきたい。事務方は、瀧野さんのところまで上げていただいて、私が直接見ることにしたい**と思っています。

そういうことで、しっかりとこの問題に取り組みないと、今皆さんが言われたように、佐藤さんもおっしゃったように、日本がどんどん遅れてしまうという危機感を持って当たりたいと、こう思っております。どうぞよろしく願います。

国際標準化戦略策定の経緯

1. タスクフォースの設置

企画委員会 第1回(4/22) - タスクフォースの設置決定



国際標準化戦略タスクフォース

妹尾堅一郎座長 ほか8名

2. 「特定戦略分野」の選定

「国際標準化特定戦略分野」のタスクフォース案を提出

企画委員会 第2回(5/19) - 分野案を審議、了承



知財本部 本部会合(5/21) - 特定戦略分野決定

- 1. 先端医療分野
- 2. 水分野
- 3. 次世代自動車分野
- 4. 鉄道分野
- 5. エネルギーマネジメント分野
- 6. コンテンツメディア分野
- 7. ロボット分野

国際標準化戦略タスクフォース

- ・第1回(5/11) - 選定の考え方
- ・第2回(5/18) - 分野案の選定

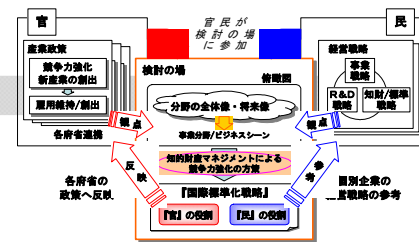
3. 「基本的な考え方」から戦略策定指示へ

「国際標準化戦略策定の基本的な考え方」を提出

企画委員会 第3回(8/25) - 戦略策定方針を決定



担当府省 分野別に戦略案を作成開始



国際標準化戦略タスクフォース

- ・第3回(6/22) - 質問事項調整
- ・第4回(6/29) - 各府省への周知
- ・第5回(7/09) - ヒアリング①
- ・第6回(7/12) - ヒアリング②
- ・第7回(7/15) - ヒアリング③
- ・第8回(8/03) - ヒアリング④

4. 検討の加速・拡充

企画委員会 第4回(10/22) - 進捗の把握



知財本部 本部会合(10/26) - 本部決定、総理指示

各府省の検討状況を報告

国際標準化戦略タスクフォース

- ・第9回(10/19) - 進捗の把握

「検討加速」の本部決定(2ページ)

「検討加速」の総理指示(2ページ)

国際標準化戦略タスクフォース

中間集中討議 → 資料1-2へ

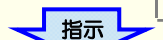
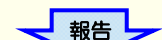
総理 総理レク(12/03) - 報告内容ご了承

中間報告(アクションプラン第1弾ご説明)

- ・第10回(11/05) - 分野別審議①
- ・第11回(11/09) - 分野別審議②
- ・第12回(11/18) - 分野別審議③
- ・第13回(11/26) - 審議結果総括

企画委員会 第5回(12/14) - 加速後策定方針を決定

中間報告(アクションプラン第1弾提出)



資料1-3へ

知財本部 本部会合(12/21)

担当府省 プランの履行

↑ 前回会合以降の動き ↓